



(写真) マドゥロ大統領 Twitter “マドゥロ政権 PDVSA 役員・閣僚らの交代を発表”

2023年8月28日(月曜)

政治

- 「[ロサレス知事 カプリレス候補の支持を表明](#)
～予備選挙は伝統的野党の信任投票の様相～」
- 「[官報 PDVSA 総裁・役員を発表](#)」
- 「[国内商業相・工業生産相・都市農業相が交代](#)」
- 「[国営銀行 Bicentenario 銀行 頭取が交代](#)」

経済

- 「[ベネズエラ新車価格 2万ドル超から](#)」
- 「[メカニック団体 輸入部品の認証制度を要請](#)」

社会

- 「[ベネズエラでデング熱の感染増加](#)」

2023年8月29日(火曜)

政治

- 「[隣人の力・Futuro プロスペリ候補を支持?](#)」
- 「[マチャド党首 ロサレス知事の支持表明に言及](#)」

経済

- 「[Eni、Repsol ベネズエラに石油製品を供給](#)
～ベネズエラ国内で事業再開について検討～」
- 「[印 Indian Oil ベネズエラでの事業再開を協議](#)」
- 「[CITGO のガソリンにディーゼル燃料が混入](#)」
- 「[Fedecamaras 接收企業800社の返還を期待](#)」

社会

- 「[親の子供に対する購買アンケート](#)」

2023年8月28日（月曜）

政治

「ロサレス知事 カプリレス候補の支持を表明
～予備選挙は伝統的野党の信任投票の様相～」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.953](#)」にて、10月の予備選に出馬している「第一正義党 (PJ)」のエンリケ・カプリレス元ミランダ州知事が、スリア州知事で「新時代党 (UNT)」のマヌエル・ロサレス党首と面談したとの記事を紹介した。

面談2日後の8月28日 マヌエル・ロサレス UNT 党首は自身のソーシャルメディアアカウントにて、予備選挙でエンリケ・カプリレス元知事を支持することを正式に表明した（下投稿文）。



（写真） @manuelrosalesg

ロサレス知事とカプリレス元知事は、現在の主要野党のリーダー的な存在。

両者の政治スタンスが似ていることから、ロサレス知事はカプリレス元知事を支持すると思われていたが、今回正式にカプリレス元知事への支持を表明したことになる。

両者の主なスタンスは以下の通り。

- ・選挙による政権交代（武力による政権交代を拒絶）
- ・対話による解決（圧力による解決を拒絶）
- ・経済制裁に否定的

10月に予定されている予備選挙は、急進野党「Vente Venezuela」のマリア・コリナ・マチャド党首とカプリレス元知事の対決になると考えられている。

マチャド党首率いる急進野党は

- ・選挙による政権交代を志向するが、外国の武力介入も否定しない
- ・マドゥロ政権との対話は無意味であり、問題解決には国内外からの圧力と行動が必要
- ・そのために経済制裁は必要

とのスタンスであり、カプリレス元知事（主要野党）の方針と真っ向から衝突している。

予備選はカプリレス元知事とマチャド党首の政治スタンスが争点になっているというより、「伝統的野党（カプリレス陣営）をそのまま野党代表として活動させて良いのか？」という「伝統的野党の信任投票」のような選挙になっている。

そして、伝統的野党のこれまでの不甲斐なさを理由に、マチャド候補率いる急進野党陣営が有利に選挙戦を進めている印象。

そのような状況の中で、伝統的野党が野党代表の座を維持するためにもロサレス党首はカプリレス元知事を支持したと思われる。

また、カプリレス元知事は、公職選への出馬禁止を命じられており、仮に予備選で当選したとしても大統領選に出馬できない可能性が高い(出馬禁止命令を受けている点では、マチャド党首も同じ)。

カプリレス元知事は与野党協議を通じて、出馬禁止の解除を試みると思われるが、うまくいかなかった場合、ロサレス党首に野党統一候補の座を託す可能性は十分にありそうだ。

「官報 PDVSA 総裁・役員を発表」

8月28日付の特別官報6760号にて、PDVSA 総裁および役員が発表された。

2023年1月に PDVSA 総裁に任命された Pedro Tellechea 総裁は留任が決まった。



(写真) マドゥロ大統領エックス (旧 Twitter)

Tellechea 総裁以外の PDVSA 役員は以下の通り。

- ・ Héctor Andrés Obregón 氏
 - Miembro principal de la junta directiva y vicepresidente Ejecutivo de Pdvsa. (役員のボードメンバー・PDVSA 執行副総裁)
- ・ Luis Enrique Molina 氏
 - Miembro principal de la junta directiva y vicepresidente de Exploración y Producción de Pdvsa. (役員のボードメンバー・採掘生産担当役員)
- ・ Gustavo Adolfo Boadas 氏
 - Miembro principal de la junta directiva y vicepresidente de Refinación de Pdvsa. (役員のボードメンバー・精製担当役員)
- ・ Luis Miguel González 氏
 - Miembro principal de la junta directiva y vicepresidente de Gas de Pdvsa. (役員のボードメンバー・ガス担当役員)
- ・ Génesis Sanabria Ron 氏
 - Miembro principal de la junta directiva y vicepresidenta de Comercio y Suministro Internacional de Pdvsa. (役員のボードメンバー・商業国際供給担当役員)
- ・ Juan Carlos Díaz 氏
 - Miembro principal de la junta directiva y vicepresidente de Comercio y Suministro Nacional de Pdvsa. (役員のボードメンバー・商業国内供給担当役員)
- ・ Leyli Beatriz Ferrer 氏
 - Miembro principal de la junta directiva y vicepresidenta de Planificación e Ingeniería de Pdvsa. (役員のボードメンバー・企画エンジニア担当役員)

・ Heifred Jhoselin Segovia 氏
– Miembro principal de la junta directiva y vicepresidenta de Finanzas de Pdvsa. (役員のリポートメンバー・財務担当役員)

・ Ronny Rafael Romero 氏
– Miembro principal de la junta directiva y vicepresidente de Asuntos Internacionales de Pdvsa. (役員のリポートメンバー・国際事案担当役員)

「国内商業相・工業生産相・都市農業相が交代」

8月28日付の特別官報6761号にて、国内商業相の人事交代が発表された。

これまでアントニオ・モラレス氏が国内商業相を務めていたが、同日の官報発行により Dheliz Álvarez 氏 (右写真の左の女性) が同職を引き継ぐことになる。

Dheliz Álvarez 新国内商業相は、カラボボ大学卒の弁護士。教育系の社会開発プログラム「ミシオン・ロビンソン基金」の代表(2018年7月～)を務めた経験がある。

また、2021年10月～23年1月まで国内商業相を務めており、23年1月にアントニオ・モラレス氏が引きついだ(「[ベネズエラ・トゥデイ No.859](#)」)。つまり、実質的に Dheliz Álvarez 氏が返り咲いたことになる。

加えて、同日付の特別官報6762号にて、工業生産相の人事交代も発表された。

新たに工業生産相に就任したのは José Félix Rivas Alvarado 氏 (右写真中央の男性)。Hipólito Abreu 氏との交代になる。

José Félix Rivas Alvarado 氏は、ベネズエラ中央大学卒の経済開発学教授。これまでにベネズエラ中央銀行役員、メルコスル・ALADI のベネズエラ代表大使を務めたことがあるという。

また、同日付の特別官報6763号にて、Jhoanna Gabriela Carrillo Malavé 氏 (下写真の右の女性) の都市農業相任命が発表された。

Jhoanna Gabriela Carrillo Malavé 氏は、デルシー・ロドリゲス氏が代表を務めている団体「Movimiento Somos Venezuela」の統括秘書。社会開発プログラムのコーディネーターなども務めた人物のようだ。



(写真) Runrunes

「国営銀行 Bicentenario 銀行 頭取が交代」

8月28日付の特別官報6764号にて、国営銀行「Banco Bicentenario」の頭取の交代が発表された。

新頭取は Sergio Julio Lotartaro Tovar 氏(顔写真なし)。2020年9月から同行の頭取を務めていた Simón Zerpa 氏との交代になる。

Sergio Julio Lotartaro Tovar 氏の卒業大学は不明だが、メディアによると行政学を専攻しており、2020年には議員代理を務めていたという。

経 済

「ベネズエラ新車価格 2万ドル超から」

現地メディア「El Diario」は、ベネズエラで新車を購入するためには2万ドル超が必要で、融資を得る場合も半分は頭金を出す必要があると報じた。

チャカオ市 Andrés Galarraga 通りに位置する「Hyundai」の自動車代理店「Auto King」の匿名関係者の証言によると、2023年時点でもっとも安く購入できる新車は「Grand i10」で1台27,900ドル。

また、ピックアップタイプの「Tucson」は、1台53,000～64,000ドル。

また「Hyundai」で最も値段が高い「Palisade」は90,000ドル。いくつかの車種は同店舗に予備がないが、120日超の期間がかかるが輸入することは可能だという。

最も安い「Grand i10」については、頭金として13,950ドルが必要で、残りの50%は12カ月のクレジット払い(月1,162.5ドルの分割)を利用できるという。

「メカニック団体 輸入部品の認証制度を要請」

「ベネズエラ全国メカニック工場商工会(Canatame)」は、マドゥロ政権に対して自動車の輸入部品に認証制度を設けるよう求めた。

CanatameのGino Fileri代表は、「Union Radio」のインタビュー番組に出演。現在、違法ルートで輸入される自動車部品が市中に出回っており、安全が保障されていないと指摘。

自動車部品の品質に一定の基準を設けるための認証制度の導入の必要性を主張した。

認証制度の導入について検討するため、近日中にマドゥロ政権の製品規格などを管理する「Sencamer」と協議を行うと補足した。

社 会

「ベネズエラでデング熱の感染増加」

8月28日 「ベネズエラ感染症団体」のPatricia Valenzuela副代表は、ベネズエラでデング熱の感染者が増えていると警鐘を鳴らした。

Valenzuela副代表によると、2023年前期(1～6月)のデング熱感染者数は前年同期の2倍になっており、カラカスだけでも409件の感染が確認されているという。

また、7月以降ベネズエラは雨季に入り、蚊が多くなる時期になるため後期は更にデング熱の感染者が増える恐れがあるとの懸念を示した。

また、チクングニヤ熱も蚊が媒介するウイルス性疾患でベネズエラに限らず、南米で感染者が増加しているという。

2023年8月29日(火曜)

政 治

「隣人の力・Futuro プロスペリ候補を支持？」

8月29日 ベネズエラ人ジャーナリストのウラディミール・ビジェガス記者は、予備選について、2つの政党が「行動民主党(AD)」のカルロス・プロスペリ候補を支持すると報じた。

2つの政党とは、独立野党「隣人の力 (FV)」と穏健野党「未来党 (Futuro)」。

FV は独立野党として頭角を現した新興政治グループでチャカオ市のグスタボ・ドゥケ市長が党首を務めている。他にヌエバエスパルタ州のモエル・ロドリゲス知事もFV に所属する政治家である。

「Futuro」は、穏健野党のリーダー格だったヘンリー・ファルコン党首が発足した政党。ファルコン党首は2018年の大統領選の際にマドゥロ大統領の対抗馬として出馬した人物 ([「ウィークリーレポート No.47」](#))。

ファルコン党首は元々「発展進歩党 (AP)」の党首だったが、政党内部でクーデターを受けて失脚。「Futuro」という政党を発足し、政治活動を続けている。

マリア・コリナ・マチャド党首やエンリケ・カプリレス元ミランダ州知事と比べると、カルロス・プロスペリ氏の知名度は低い。

個人的には、プロスペリ氏が当選する可能性はかなり低いと思うが、AD の組織力を活用すれば大番狂わせを起こす可能性は否定できない。

「マチャド党首 ロサレス知事の支持表明に言及」

本稿「[ロサレス知事 カプリレス候補の支持を表明](#)」で紹介した通り、予備選に関してロサレス知事がカプリレス候補を支持すると表明した。

本件について、急進野党「Vente Venezuela」のマリア・コリナ・マチャド党首は、この動きを歓迎する考えを示した。

「彼らには同盟を組む権利がある。

政治ではそういったことは普通であり、予備選も然り。自由意志で同盟を組むことができるのは素晴らしいことだと思う。」「似た考えのグループが同盟を組むことは既に予備選で起きているし、それが問題になることはない。」との見解を示した。

また、マチャド党首は「カプリレス候補やロサレス知事を含めて、将来的に他の野党関係者が自身と同盟を組むことも歓迎する」と発言。「ベネズエラにとってプラスになる人物であれば手を組む」と述べた。

経 済

「Eni、Repsol ベネズエラに石油製品を供給
～ベネズエラ国内での事業再開について検討～」

「ロイター通信」は、イタリアのエネルギー会社「Eni」とスペインの「Repsol」が米国政府の承認の下でPDVSAとの取引再開を検討していると報じた。

ロシアからのエネルギー供給が制限される中、「Eni」「Repsol」は米国からベネズエラとの原油取引再開の許可を受けたと報じている。

ロイター通信によると、取引の内容は「Eni」「Repsol」がPDVSA に対して石油製品を供給し、PDVSA の原油を調達するというもの。また、支払いは「Eni」「Repsol」の債権回収に充てられるという。

現在もベネズエラのガソリンスタンドは地方を中心に燃料不足が深刻な問題になっているが、この取引によりPDVSA の燃料不足の問題は緩和するとみられている。

「Refinitiv Eikon」のデータによると、同ライセンスに基づく最初の取引は33万バレルのナフサで、既にイタリアの Milazzo 製油所 (Eni と Kuwait 石油が運営する製油所) を出発しており、今週中にカルドン製油所に到着する見込みだという。

2023年に入り、PDVSA は Eni に対して7隻の原油を輸出している。これらの原油は Eni と Repsol が購入している。

また、Eni は2019年に停止した「Petrosucre」の原油輸入再開を望んでいるという。

加えて、原油取引の再開が成功した暁には「Eni」「Repsol」はベネズエラ海域にあるガス鉦区の開発も検討するという。

「印 Indian Oil ベネズエラでの事業再開を協議」

在インド・ベネズエラ代表大使館の Capaya Rodríguez González 大使は、「Indian Oil」の Hridesh Baidail 役員および Sujoy Choudhury 役員と面談を実施。

米国の経済制裁で中断しているベネズエラでの事業再開について意見交換を行った。

「Indian Oil」の役員は、ベネズエラのガス事業への参入に強い関心を示したという。



「CITGO のガソリンにディーゼル燃料が混入」

フロリダ州の「農業・消費者サービス庁 (FDACS)」は、CITGO が Tampa 港から供給したガソリンにディーゼル燃料が混入している可能性があるとして警鐘を鳴らした。

この発表の前の8月26日に CITGO は、フロリダ州 Tampa ターミナルの燃料に不純物が混入している可能性を発表していたという。

ディーゼル燃料の混入は、ターミナルでの貨物の誤配送が理由のようで、この問題を受けてターミナルは即時閉鎖されたという。

フロリダ州のデサンティス知事は、本件について「単純に人為的なミス」と説明。ターミナルの従業員がガソリンだと思い、ディーゼル燃料を混ぜてしまったという。

混入した燃料は既に市中に出回っているようだが、フロリダ州当局は疑わしい燃料を販売しないよう呼び掛けている。

「Fedecamaras 接収企業800社の返還を期待」

「ベネズエラ経団連 (Fedecamaras)」のアダン・セリス代表は、過去接収された800社の企業について、元の正当な所有者の元に返還することを期待していると述べた。

また、米国の経済制裁について「ベネズエラの民間セクターは米国政府がベネズエラへの制裁を緩和することを期待している」

「ベネズエラ国内で生産し、労働している人々、ベネズエラに帰国することを望んでいる人々は制裁緩和を求めている。」とコメントした。

社会

「親の子供に対する購買アンケート」

世論調査会社「Consultores 21」は、親が子供のために購入する商品に関するアンケート調査を実施。その結果を公表した。

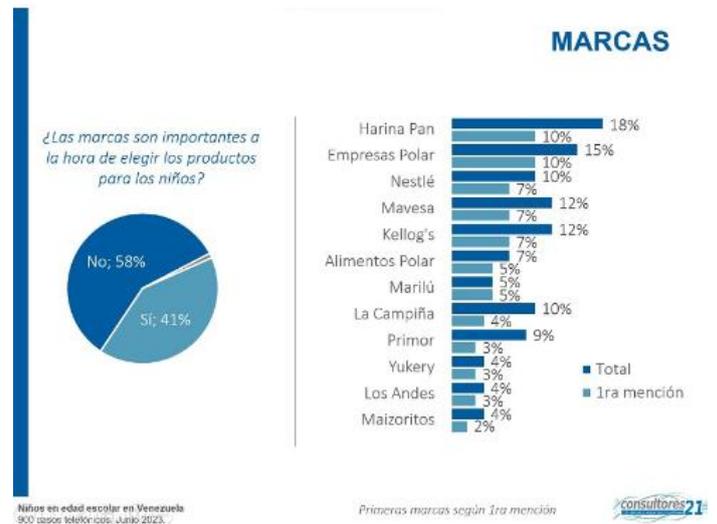
質問の内容は「子供のために商品を選ぶに当たってブランドは重要だと思いますか?」というもの。

この質問に対して、41%は「はい」、58%は「いいえ」と回答したという。

また、具体的なブランドについて以下の通り回答したという。

- Harina PAN - 18% (とうもろこし粉)
- Empresas Polar - 15%. (総合食品メーカー)
- Nestlé - 10%. (菓子メーカー)
- Mavesa - 12%. (マーガリン・マヨネーズメーカー)
- Kellogg's - 12%. (菓子・シリアル系メーカー)
- Alimentos Polar - 7%. (総合食品メーカー)
- Marilú - 5%. (菓子メーカー)
- La Campiña - 10%. (粉ミルクメーカー)
- Primor - 9%. (パスタメーカー)
- Yukery - 4%. (飲料メーカー)

- Los Andes - 4%. (乳製品メーカー)
- Maizoritos - 4%. (菓子・シリアル系メーカー)



(写真) Consultores 21

以上